

資料 No.1-1

<一般社団法人日本地域医療学会 設立記念集会>

—令和4年6月24日(金)／—14:15~14:40

情勢報告

日本地域医療学会 専門医制度について

一般社団法人日本地域医療学会理事長

公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長

小野 剛 氏

日本地域医療学会情勢報告

日本地域医療学会
理事長 小野 剛

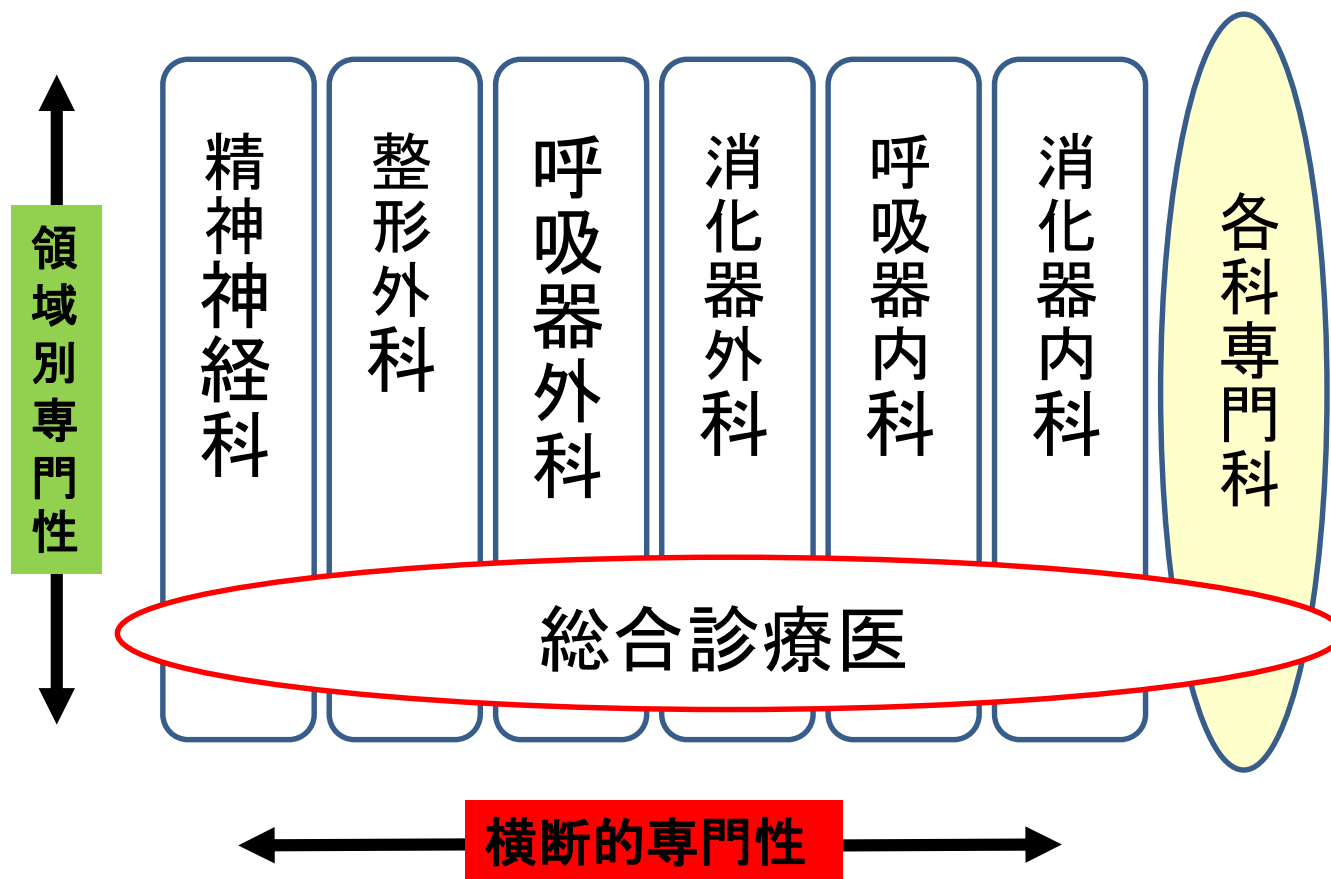
ある日診察に来た彦一さん(86歳)は・・・多くの疾患を持っています



高齢者が増える地域では、臓器別・診療科別のタテ割り医療でなく、患者目線で複数疾患を丸ごと診るヨコ軸医療ニーズが高まっている。また医療ニーズと介護ニーズを複合的に有する患者が多くなっている。高齢化が進む日本の地域医療を支えるのは総合診療医であり、地域は総合診療医の力を十分に発揮できる絶好のフィールドである。

専門医と総合診療医の専門性

(地域医療学のブレイクスルー: 四方 哲)



領域別専門医は縦方向であり、総合診療医は横方向であるかの違いです

総合診療医と時間軸



小児医療
予防接種



学校健診



健康診断



高齢者医療



在宅医療



看取り

地域における総合診療の魅力の一つは、目の前の患者さんの一時点だけを診るのではなく長いスパンで関わっていけることです。

地域における総合診療医は多職種連携で地域住民の人生を支え、寄り添える医師でありやりがいのある分野でありニーズも増えると考えます。

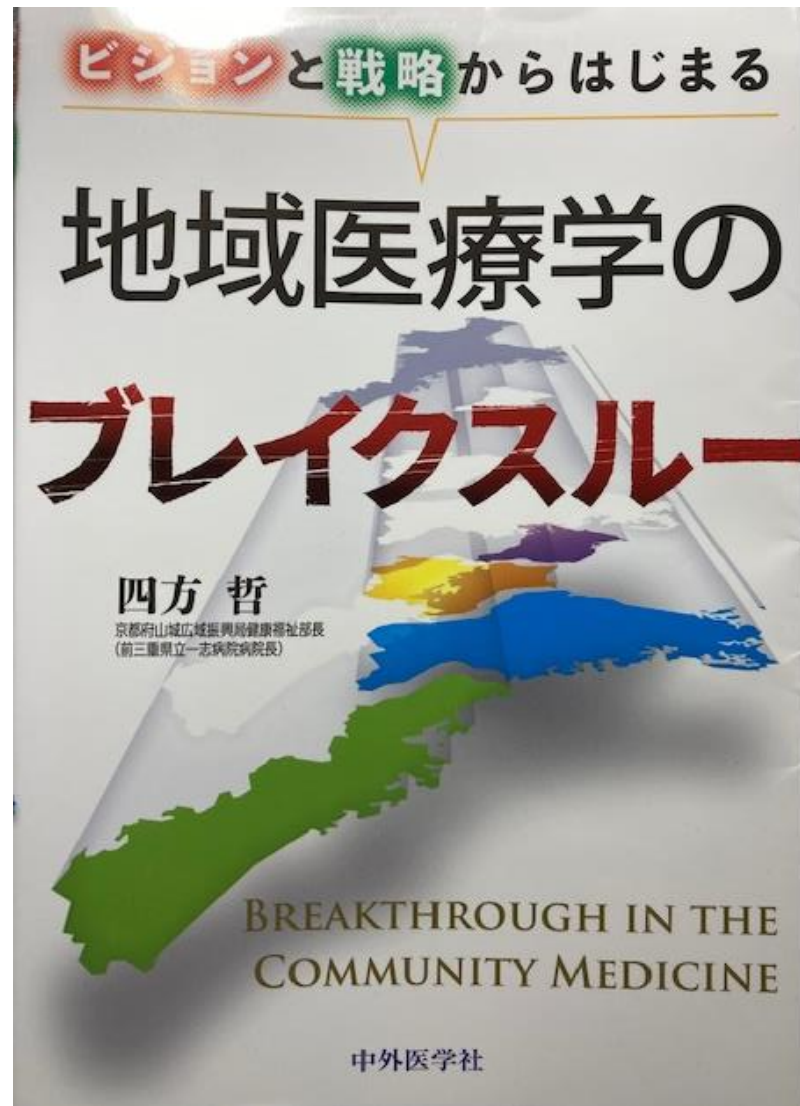
地域医療と総合診療医

**地域医療の推進役は総合診療医がふさわしい。
総合診療医のキャリアパス
とロールモデルは過疎地にある**

地域医療で求められる総合診療医像

- ①幅広い症状に対して診療ができる
- ②初期救急に対しては必ず対応できる
- ③地域のニーズに応じて自らを柔軟に変化させることができる

地域や患者のニーズによって自らを柔軟に変化させる医師が総合診療医である



(地域医療学のブレイクスルー: 四方 哲)

総合的な診療能力の必要性

- 高齢化に伴い、特定の臓器や疾患を超えた多様な問題を抱える患者が増加。
- これらの患者には、複数の領域別専門医による診察よりも、一人の総合的な診療能力を有する医師による診察のほうが適切な場合がある。



総合診療専門医を新たに位置づけ

総合診療医：総合的な診療能力を有する医師

- ※ 日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病と傷害等について、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的に提供。

総合診療専門医：総合診療医の専門医としての名称

- ※ 新たな専門医の一つとして基本領域に加える。
- ※ 「地域を診る医師」としての視点も重要。
他の領域別専門医や他職種と連携して、多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供することが期待される。

総合診療専門医の基準

- 総合診療専門医の認定・更新基準や養成プログラム・研修施設の基準については、関連する諸学会や医師会等が協力して、第三者機関において作成すべきである。



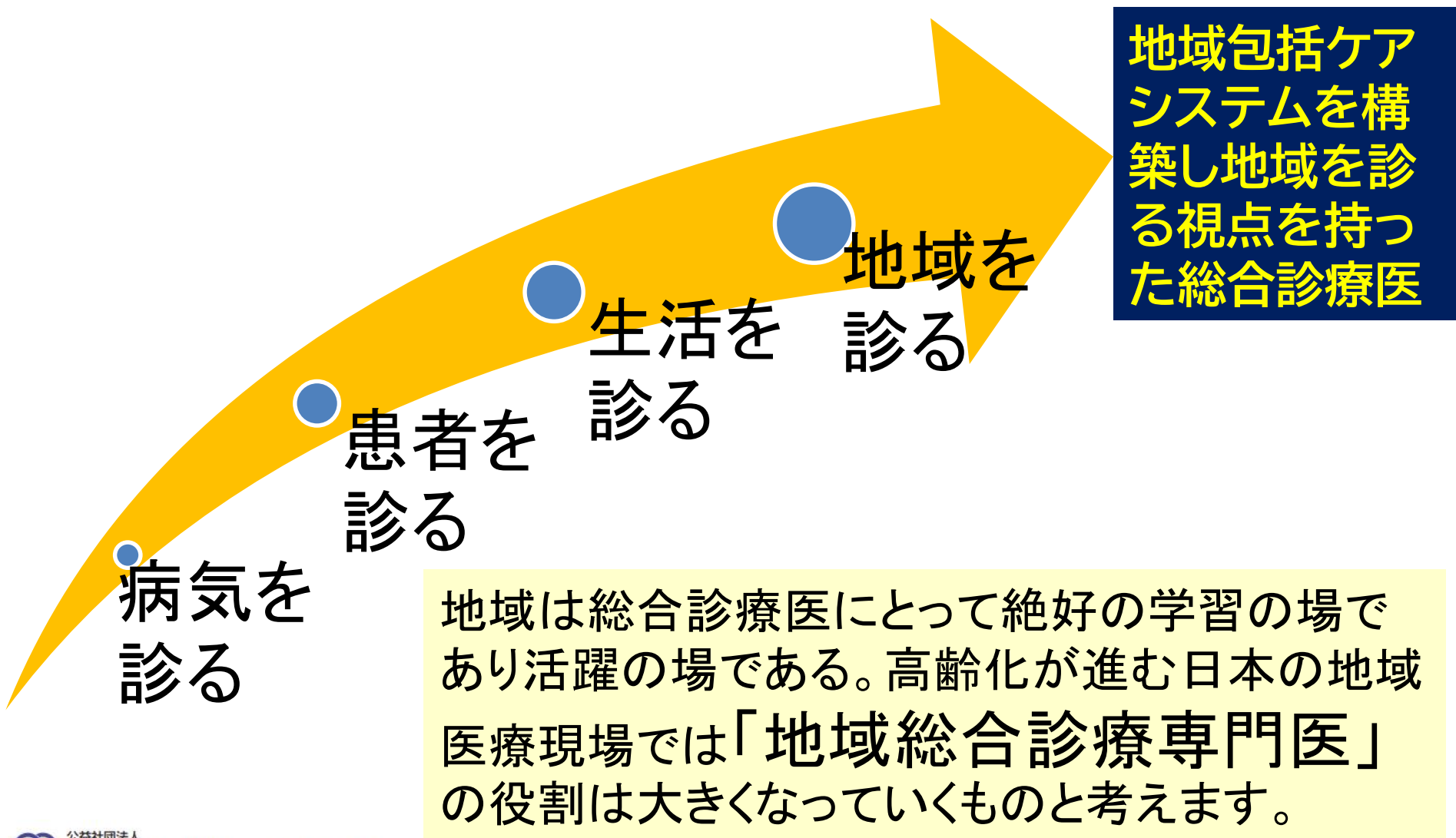
総合診療専門研修プログラム整備基準

日本専門医機構・総合診療専門医に関する委員会

研修プログラム（3年間以上）

- **総合診療専門研修（18ヶ月以上）**
 - ・ 診療所および中小病院での研修（6ヶ月以上）
 - ・ 総合診療部門を有する病院で、臓器別でない病棟診療と外来診療での研修（6ヶ月以上）
- **必須領域別研修（12ヶ月以上）**
 - ・ 内科6ヶ月以上 小児科3ヶ月以上 救急科3ヶ月以上
- **その他の領域別研修**
 - ・ 外科・整形外科・産婦人科・精神科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科などでの研修

これからの地域医療に求められる医師



総合診療専攻医採用数と課題

総合診療専門医を目指す若い医師が思った以上に少ない！

年度	採用数
2018年度	184人
2019年度	179人
2020年度	222人
2021年度	206人
2022年度	250人



- ① 内科とのダブルボード取得が不明
- ② サブスペシャルティが不明
- ③ 将来に向けてのロールモデルがない
- ④ ……

- ◆ 地域をまるごと診ることができる「**地域総合診療専門医**」をサブスペシャルティとして確立させ総合診療を目指す若い医師を増やすために一翼を担う
- ◆ 既に地域で総合診療を頑張っている医師を認定してロールモデルになってもらう
- ◆ キャリアチェンジ・セカンドキャリアで総合診療を目指す医師の受け皿になる

基盤学会として「**日本地域医療学会**」設立

設立の目的

日本地域医療学会は

- 1.地域における保健・医療・介護・福祉等とその連携活動に関する調査・研究及び教育、技術の向上、ならびにその社会応用の促進を図ること
 - 2.地域公衆衛生の持続可能な発展に寄与すること
 - 3.もって地域住民の健康な生活を支援すること
- を設立の目的としています。

事業実施内容

本学会においては

- 1.定期学術集会、講演会、研究会等の開催
- 2.地域医療に関する専門職の育成
- 3.地域医療に関する生涯学習活動の推進
- 4.機関誌及び学術図書等の発行
- 5.国内外の関係諸団体・諸機関との交流ならびに協力活動
- 6.その他目的を達成するために必要な事業を実施いたします。



学会運営

日本地域医療学会（Japanese Association of Community Healthcare: JACH）は、2021年9月「地域医療を守る病院協議会」に加盟する医療系団体を中心に設立登記されました。



公益社団法人 全国自治体病院協議会
JNHA JAPAN MUNICIPAL HOSPITAL ASSOCIATION

公益社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会
Japan National Health Insurance Clinics and Hospitals Association

一般社団法人 地域包括ケア病棟協会
JAHCC Japanese Association of Hospitals for Community-based Care

日本慢性期医療協会
JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

一般社団法人 日本公的病院精神科協会
Japan Public Hospital Association on Psychiatry

全国厚生農業協同組合連合会
JA厚生連

一般社団法人日本地域医療学会 執行役員

理事長 小野 剛（全国国民健康保険診療施設協議会会長）
副理事長 小熊 豊（全国自治体病院協議会会長）
副理事長 仲井培雄（地域包括ケア病棟協会会長）
副理事長 中島豊爾（日本公的病院精神科協会会長）
副理事長 金丸吉昌（全国国民健康保険診療施設協議会副会長）
副理事長 矢野 諭（日本慢性期医療協会副会長）
アドバイザー 武久洋三（日本慢性期医療協会会長）

一般社団法人日本地域医療学会とは
日本地域医療学会（Japanese Association of Community Healthcare: JACH）は、2021年9月、地域医療を守る病院協議会に加盟する医療系団体を中心に設立登記されました。

おわりに

高齢化が進む日本では患者が抱える複合的な疾病を総合的に診て、地域全体で治し・支え・寄り添う医療が求められています。このような医療実現の担い手として「地域包括ケア」を実践できる総合診療専門医には大きな期待が寄せられています。

地域では、幅広い領域の疾病と多様な課題を抱える患者を継続して診療する事ができ、「病気を診る」だけでなく「地域を診る」眼を習得できる絶好の研鑽の場です。患者さんの人生に寄り添い、地域のニーズにマッチした医療・介護・福祉を総合的に実践できることが地域医療の醍醐味です。

今、時代は地域で活躍する総合診療専門医を求めています！これから総合診療専門医を目指す学生や初期研修医の皆さま、総合診療専攻医の皆さま、更にはキャリアチェンジやセカンドキャリアとして総合診療専門医を目指す皆さまなど、地域志向が高く熱いハートを持った多くの皆さまが日本地域医療学会に入会していただくことをお待ちしております。